

社会保障問題学ぶ

民進県連政治スクール

民進党県連の第3回政治スクールは12日、金沢市のITビジネスプラザ武蔵で開かれ、写真、介護や医療、年金といった社会保障政策の問題について党青年局長



の初鹿明博衆院議員が解説した。

党所属の県議や市議、一般市民ら約20人が参加した。初鹿氏は安倍政権が進める介護保険制度見直しについて「サービス縮小は利用者の重症化につながり、結果として負担が増える」と批判。介護度に関係なく低所得者も入れるサービス付住宅などが必要とし、財源には毎年2兆円が未消化となっている国の公共事業費を挙げた。介護保険の被保険者年齢を引き下げる私案も示した。

冒頭、田中美絵子県連副代表があいさつした。